

平成25年（2013）12月3日～5日

平成25年度（2013）

第4回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表

平成25年度（2013）第4回出雲市議会（定例会）一般質問通告一覧表 目次

12月3日（火） 10:00 開会			12月4日（水） 10:00 開会			12月5日（木） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	1	1	多々納剛人	6	1	遠藤力一	12
2	湯浅啓史	1～2	2	保科孝充	7	2	板垣成二	12～13
3	渡部勝	2	3	勝部順子	8	3	寺本淳一	13
4	大谷良治	3	4	岸道三	9	4	長廻利行	14
5	大国陽介	3～4	5	板倉明弘	9	5	井原優	14～15
6	大場利信	4～5	6	珍部全吾	10	6	松村豪人	16
7	米山広志	5	7	小村吉一	10～11	7	原正雄	17
8	板倉一郎	6	8	神門至	11	8	伊藤繁満	18

平成25年度（2013）第4回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	7	福島孝雄		
質問事項	質問内容		答弁を 求める者	記 事
1. 行財政改革における「新地方公会計制度」活用の取り組みについて	① 「総務省方式改訂モデル」による財務書類作成の目的について伺う。 ② 現金主義ではなく、発生主義にもとづく財務によって見えるものとは何か伺う。 ③ 財務業績を評価する上で、固定資産台帳・公共施設白書の作成が大前提であるが、資料作成の現状と課題点を伺う。 ④ 財務書類を活用し、今後財政健全化を進めるうえでの、会計診断のできる人材育成はどのように考えているのか伺う。		市長	
2. 新農業政策に対し出雲市の取り組みを伺う	① 政府による農家所得試算によると中国地方は25%増としているが、出雲市の場合の試算を伺う。（平野部と中山間部別） ② 5年後の減反廃止予定に伴ない、主食用米から飼料用米への転換を促す考えのようであるが、現実に飼料用米作付け面積の拡大は可能なのか、又、受入れ施設の現状を伺う。 ③ 休耕田を利用し飼料用米の生産が増えるとの見通しであるが、中山間地での休耕田再利用は大変コストが掛かるが、市としての対策を伺う。		市長	

質問者	3	湯浅啓史		
質問事項	質問内容		答弁を 求める者	記 事
1. 行財政改革へ取り組むにあたっての体制づくりについて	① 行財政改革へ取り組むにあたっては「公共施設の再配置を含む検討」、「公共施設の効率的な管理・運営の維持」、「公共施設に限らず行財政改革全般についての戦略立案」、「財政改革全般についての進捗管理」などの局面があり、それぞれに求められる組織体制が異なる。 これらに対応するため組織変更について ア 今後どのような組織体制で臨むのか具体的に示されたい イ 公共施設の効率的な管理・運営を維持するために必要なシステムは検討されているのか ・人的な組織体制と仕組みについての検討 ・コンピュータシステム等についての検討		市長	

2. 土曜授業への取り組みについて	① 国が行った「公立小・中・高等学校における土曜授業に関する調査」結果について ア 調査結果に対する見解を示されたい イ 本市で同様の調査をされる予定はあるのか ② 土曜授業への取り組みについて ア どのような検討がなされているのか イ 「土曜日の教育活動推進プラン」に示された事業案（土曜授業推進事業など）は活用できる見込みがあるのか	教 育 長	
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	--

質 問 者	6 渡 部 勝
-------	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. ナラ枯れ被害について	① 現在までの過去3年間の被害状況 ② ナラ枯れの原因 ③ ナラ枯れを防ぐため今後どのような対策を行うのか ④ みんなでつくる出雲の森事業では、ナラ枯れ対策の効果にどのように反映されるのか	農 林 水 産 調 整 監	
2. 除雪対策について	① 今年度の除雪計画 ア 経費 イ 地区別の除雪体制 ウ 除雪に対しての基本的な考え ② 小型除雪機の導入 ア 雪害を受けやすい地区、あるいは個人への除雪機購入に対しての助成 イ 雪害を受けやすい地区コミセン単位への除雪機の設置	都 市 建 設 部 長	
3. 築地松景観保全について	① 助成対象者の条件の改正 ア 住民協定の内容の見直しを イ 一般協定と特定協定の枠を定めない ウ 築地松景観保全について基本的な考え	都 市 建 設 部 長	

質問者	1 大谷良治	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲大社周辺の渋滞緩和およびリピーター対策について	<p>① 交通渋滞に対応するには交通規制、シャトルバスの運行、観光バスのコントロール、新たな駐車場の確保等が必要。 ア 現状の対策は（関係機関とどのように連携をしているのか） イ 成果は ウ 分析・今後の課題</p> <p>② 歩道の拡幅による大型車の交差は歩道部分を走行せざるを得ない状況であり観光客も車道にはみ出して歩行するため、非常に危険であるとの声があるがどのようにお考えか。</p> <p>③ 県と連携した取組み状況</p> <p>④ 出雲観光パンフレット請求（アンケート）※HPについて ア パンフレットの請求件数は イ アンケート調査を踏まえ今後のリピーター対策は</p>	産業観光部 長			

質問者	16 大国陽介	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 島根原発の再稼働方針に抗議し、撤回を求めよ	<p>① 中国電力は、11月21日、島根原発2号機の再稼働にむけ、原子力規制委員会に安全審査申請を行う方針を表明したが、①汚染水を含む過酷事故対策が不十分なこと、②基準地震動の見直しが行われていないこと、③実効ある避難計画が立てられていないこと、④原発事故のリスクが巨大であること、⑤安全協定すら締結されていないことなど、再稼働できる条件はまったくないと考える。 ア 福島事故の収束さえできず、事故の原因すら明らかでない中での「新規制基準」では極めて不十分であると考えているが、市長の所見を伺う。 イ 現在の避難計画で十分と考えているのか、市の見解を伺う。 ウ 安全協定が未だに締結されていないが、現状をどのように感じているのか、所見を伺う。 エ 原発即時ゼロの決断を行うとともに、中国電力の原発再稼働方針に対し強く抗議し、撤回を求めるべきと考えるが、いかがか。 オ 同時に、県知事から『島根原子力発電所周辺住民の安全確保等に関する協定』にかかる覚書に基づく「島根原子力発電所に関する重要な判断や回答」の説明があった際には、中国電力の再稼働方針を批判するとともに、再稼働は認められない旨の意見を提出することを求めるが、いかがか。</p>	市長			

2. 保険料の引き下げなど国民健康保険の改善を求める	<p>① 出雲市で約2万2000世帯・3万8000人が加入する国民健康保険は、ほぼ毎年のように保険料が引き上げられ、市民は高負担にあえいでいる。自営業者、年金生活者、パートやアルバイトなどの非正規労働者、無職の方などが加入し、低所得者が多いのも国民健康保険の特徴であり、構造的な問題を抱えている。このもとで、そのしわ寄せは被保険者である市民に強く及び、生活を苦しめている実態があると認識している。</p> <p>ア 国民健康保険の問題点を“市民の立場”からどのように認識しているのか、所見を伺う。</p> <p>イ 年間所得200万円で保険料が年間40万円を超えるなど、保険料は異常に高い。一般会計からの繰り入れや基金の活用を含め、直ちに引き下げをを求めるが、いかがか。あわせて、新市発足以来の保険料の推移を示されたい。</p> <p>ウ 市民の医療を受ける権利を切り縮める「短期証」「資格証」の発行中止を求めるが、いかがか。あわせて、現在の発行数をそれぞれ示されたい。</p> <p>エ 国保法44条に基づく一部負担金の減免制度を拡充し、通院にも対象を広げるなど実効あるものにするを求めるが、いかがか。あわせて、これまでの実績を示されたい。</p> <p>オ 国に対して、国庫負担の引き上げを求めるべきと考えるが、いかがか。</p>	健康福祉部長	
3. 税と保険料の取り立て(収納対策)について	<p>① 預貯金の差し押さえについて</p> <p>ア 差し押さえを実施した件数(過去5年)</p> <p>② 差し押さえた口座のうち(いずれも過去3年分について)</p> <p>ア 年金が振り込まれている口座数と、差し押さえた月日</p> <p>イ 児童手当が振り込まれている口座数と、差し押さえた月日</p> <p>ウ 児童扶養手当が振り込まれている口座数と、差し押さえた月日</p> <p>エ このほか、公的な各種社会保障手当が振り込まれている口座の差し押さえの実態について同様に示されたい。</p> <p>③ 口座に振り込まれた児童手当13万円を差し押さえ、滞納していた県税に充当した鳥取県の処分を「正義に反する」と断じた鳥取地裁判決と11月27日の広島高裁松江支部の判決に対する市の見解と対応を伺う。</p> <p>④ 差し押さえなど、滞納処分の対象となる要件及び判断基準を詳細に示されたい。</p> <p>⑤ 税や保険料の滞納者に対するの強権的な取り立ては中止し、市民の生活実態を直視し、相手の立場に立った親切的な対応となるよう改善を求める。</p>	財政部長	

質問者	9 大場利信
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 斐川中央工業団地の道路遺構について伺う	<p>① 道路遺構について文化庁、県との協議状況</p> <p>② 協議において課題となった事柄</p> <p>③ 今後の工業団地の造成に与える影響</p> <p>④ 当初予定通り平成27年1月分譲開始されると考えてよいか。</p>	市長	

2. 乳幼児等医療費の義務教育就学前までの無料化について伺う	① 子育て世帯の負担軽減のため、義務教育就学前までは無料化すべきと考える。この観点から以下について伺う。 ア 乳幼児等医療費の無料化を3歳までとしている理由 イ 3歳から就学前までの医療費の負担の制度及び負担状況 ウ 就学前までに無料化することによる市の負担額の増加額及びその他の課題 エ 増加額の子育て予算全体に占める割合	市長	
3. 引き続き出雲市立総合医療センターについて伺う	① 昨年の12月議会で「クリティカルパスを活用して県中や医大との連携による患者中心の医療提供に努める」との答弁であったが、連携は十分になされているか伺う。 ② 「まめネット」のスムーズな活用により、開業医を含む地域の医療機関と患者情報が共有でき、患者負担の軽減をはじめとする各種の効果が期待できるが、「まめネット」の導入についての院内合意はなされているか伺う。 ③ 昨年の12月議会で「平成25年度には現金収支の黒字を達成する」との答弁であったが、実現の見込みはどうか伺う。	病院事業管理者	

質問者	27 米山広志
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. PM2.5の対策	① 環境基準はどのように定めてあるか ② 県内のPM2.5の現状 ③ 注意喚起の具体的な方法 ④ どのような健康影響があるか	市長	
2. 一級河川高瀬川の改修	① 現在までの進捗状況 ② 改修に問題、障害があるか ③ 今後の改修計画	市長	
3. 島根県立大社高等学校 佐田分校	① 廃校後について島根県との協議の場があったか ② 関係する地元の皆さんとの利活用についての話し合い ③ 今後の市の考え	市長	

質問者	20	板倉 一郎
-----	----	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 都市計画税の見直しについて	<p>① 本議会に提案された、都市計画税条例の一部を改正する条例について、提案内容および改正の考え方について伺う。あわせて、昨年9月議会で、平成25年度からの廃止の考えが表明されて以降、どのような経過をたどり、今回の提案となったのか伺う。</p> <p>② 税の公平性について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>③ 都市計画区域の中で、都市計画税を適用する区域と適用しない区域があることについての見解を伺う。</p> <p>④ 今後、都市計画税のあり方を含め、税全般について検討していく考えはないのか伺う。</p>	市長	
2. プロスポーツによる地域振興について	<p>① 6月の施政方針で、女子サッカーを念頭にプロスポーツを地域で育てていく考えが示されましたが、今後の取り組み状況について伺う。</p> <p>② プロスポーツを育てていく意義および期待される効果について考えを伺う。</p> <p>③ プロスポーツを育てるためには、広く市民や企業・団体など幅広い支持や支援が必要であります。その点について今後どのように進めていくのか伺う。</p> <p>④ 女子サッカーを念頭においた場合、どのようなスケジュールで進めていく考えなのか伺う。</p>	市長	

質問者	21	多々納 剛人
-----	----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 子ども・子育て支援新制度について	<p>① 子ども・子育て支援新制度では認定こども園について、認可・指導監督の一本化と、財政措置を「施設型給付」に一本化するなどの改善が図られる事となった事から、幼・保連携がさらに推進されるのではないかと考えるが、出雲市では幼稚園、保育園の今後の在り方をどのように考えておられるのか伺う。</p> <p>② 子ども・子育て会議の役割から、保育所の定員等検討委員会が来年度から廃止されると聞いている。今後の定員管理の考え方などをはじめ、会議の役割、検討内容などを伺う。</p> <p>③ 国においては平成27年度を目途に新たな幼保連携型認定こども園制度の実施を想定されているが具体的な制度設計に向けた出雲市の取り組みを伺う。</p> <p>④ この制度は、地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実が図られるものと聞いていますが、放課後児童クラブなど対象支援事業をどのように充実させていくのか伺う。</p>	市長	

質問者	12 保科孝充	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 土曜授業に向けて教育環境の整備を求める	<p>① 文部科学省では土曜日の豊かな教育環境構築に向け土曜授業を行う公立校への補助制度を設ける方針を決めた。出雲市の現状と今後の対応について伺う。</p> <p>ア 出雲市ウイークエンドスクールの実態と成果</p> <p>イ 設置者の判断で土曜授業が取り組みやすいように法律の改正が行われようとしているが、出雲市の対応について伺う</p>	市長			
2. まちづくり懇談会から感じる女性の地位向上を伺う	<p>① 8月から10月にかけて斐川町全7地区でまちづくり懇談会が開催された。出席者が限定される中、特に女性の参加者が少数であった。市では「男女共同参画のまちづくり条例」を制定し、今年の3月には5年間の「行動計画」を策定した。今後の男女共同参画の考え方について伺う。</p> <p>ア 懇談会全般を通じた市長の感想</p> <p>イ 女性の懇談会出席者割合</p> <p>ウ 市幹部職員の女性の割合</p> <p>エ 男女共同参画の今後の考え方</p>	市長			
3. 陸上自衛隊旧出西訓練場跡地の活用策を求める	<p>① 斐川町出西にある陸上自衛隊旧出西訓練場跡地（約3.7ha）は数年間放置された状態が続いている。特定用途制限地域として指定され建築物の制限がかけられているが市として活用施策がないのか伺う。</p> <p>ア 現在は財務省の所有で、売り払い予定地の看板が設置されているがその状況について伺う。</p> <p>イ 東京ディズニー・リゾートパレードの臨時駐車場として使用され数百台の車が駐車した。災害等の非常時の備え、大きなイベントの開催時には是非必要な空間と考える。市として国から無償譲渡を受け、所有・活用する考えがないか伺う。</p>	市長			

質問者	26	勝部 順子
-----	----	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市営住宅の課題について	<p>① 市営住宅の、入居時の連帯保証人制度の見直しについて伺います。島根県は、本年10月15日から連帯保証人を2名から1名に変更されました。県に併せて、市営住宅の保証人制度も1人に変更されるよう要望します。</p> <p>② 市営住宅にお住まいの方の、自治会加入についての現状と、課題について。 ア 市営住宅に入居されている方は、全員自治会加入が義務付けられているのでしょうか。加入の状況についても伺います。 イ 高齢者や、障がい者の方への、自治会役員を免除するなどの配慮について。</p> <p>③ 市営住宅の植栽の管理について。</p> <p>④ 高瀬川沿いの、旧有原住宅の今後について。 ア 安全面、景観面から早期の取り壊しが待たれますが、今後の予定について伺います。 イ 跡地の活用について、計画があるのでしょうか。</p>	都市建設 部長	
2. 「子ども安心カード」の導入について	<p>① 東京都調布市の小学校で昨年12月、食物アレルギーのある女児が給食後に死亡する事故が発生しました。これを受け、群馬県渋川市では、教育委員会と消防が協議を重ね連携を強化されました。 児童生徒の救命救急を円滑に行うために、今年6月に導入されたのが「子ども安心カード」です。 文部科学省や、総務省消防庁も先進的な取り組みとして評価しています。 ア 幼稚園・小中学校、児童クラブの子どもたちの、食物アレルギーの実態把握はされているのでしょうか。 イ 学校現場（通学路・児童クラブも含む）で救急搬送が必要な事は無かったでしょうか。 ウ 学校現場（通学路・児童クラブも含む）の安心安全を守るために、「子ども安心カード」を導入されるよう要望します。</p>	教育長	

質問者	2	岸 道 三
-----	---	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進について	① ワーク・ライフ・バランスにおける地域・企業に対する取り組みの現状について。 ② 出雲市の企業における両立支援策や超過勤務、年次有給休暇の取得状況などについて実態が把握されているか。 ③ 出雲市と経営者団体、労働者団体の間でワーク・ライフ・バランスの推進に関する宣言などを行う考え。	市 長	
2. トキを活かしたまちづくりについて	① 出雲市としてトキを何らかの形で公開していく考えについて。 ② 地域、次代を担う子どもたちへの環境教育の推進について。 ③ 佐渡を含め、他の分散飼育地との連携について。	市 長	

質問者	25	板 倉 明 弘
-----	----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 具体的で持続的な観光戦略を伺う	① 地域の幅広い関係者が連携して地域全体がひとつの事業体のように、一体となって観光客を受け入れる体制や全体を統括するような組織づくりへの取り組み状況を伺う。 ② 再び訪れて頂けるような仕掛けづくりや着地型観光プランの開発への取り組み状況を伺う。 ③ 中海・宍道湖・大山圏域市長会からの具体的な提案を伺う。 ④ 河下港・宍道湖の活用策を伺う。 ⑤ 出雲大社に向かう際の渋滞対策を伺う。	市 長	
2. 空き家等に関するアンケート調査結果を踏まえ、具体的な取り組み方針を伺う	① アンケート調査の結果と傾向を伺う。 ② 条例制定に向けてのポイントとスケジュールを伺う。 ③ 空き家の活用を促す予防的な施策を伺う。	市 長	

質問者	32	珍部全吾	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
			1. 職員の市民に対する対応について	① 毎年、塩冶地区では自主的に12月地区一斉清掃を行っている。 今年も市に協力を要請したが、いままでの様な協力は出来ないとのことであった。地区では今年中止にしようとしたところ、急に元にもどすとのこと。 ア だれがその様な判断をしたのか。 イ 調整監、課長とどの様な協議があったのか。 ウ 職員の基本的姿勢についての市の考えは。	市長	
			2. 出雲市の教育の今後のビジョンは	① 出雲市独自の教育について市の基本的考え方 下記に対する市の見解について ア 国際交流 国際化に対応する人づくりで大切と思うが イ 宍道邸 和文化教育は道徳を教える意味でも大切。宍道邸をどの様にいかすのか ウ 戦中、戦後の歴史教育をもっとやるべきと思うが、市の所感は	市長	
			3. 都市計画税について	① 都市計画税を段階的に下げていくという方針が示された。 ア 目的税としての目的は イ 旧出雲市の対象地区以外の対応は 従来の1/2になった時、全用途地域に掛けるべき ウ 完全廃止は何時になるのか	市長	

質問者	15	小村吉一	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
			1. 「特定秘密保護法案」は戦争への一里塚	① 「特定秘密保護法」(案)について、市長はどのような見解を持っているかの伺う。	市長	
			2. 「木綿街道」を重要伝統的建造物群保存地区へ	① 本市及び東部拠点都市平田の中での「木綿街道」の価値と位置づけをどのように考えているのか伺う。 ② 伝統的建造物保存地区へ向けて「木綿街道」の調査をまず行うべきと考えるがどうか。	教育長	

3. 地産地消を進める学校給食に	① 米飯、パン、牛乳を除いた食材において、地産地消の現状（金額ベースでの割合など）と今後の推進について伺う。 ② 給食センターごとの配食地域内の事業者や小売商などへの落札率（1品目1件とし）はいくらか。 ③ 地域の事業者や小売商の存続は地域社会の維持という観点から現在、大変重要である。納入への支援をする考えはないか。	教 育 長	
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	--

質 問 者	4 神 門 至
-------	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 行財政改革の推進について	① 市の考える行財政改革についてお伺いします。 ア 市の基本的な考え方についてお伺いします。 イ 今後のスケジュールについてお伺いします。	市 長	
2. 豪雪（雪害）等の対策について	① 今年の冬も大雪が予測されています。市が考える「想定内の雪害」と「想定外の雪害」についての対策をお伺いします。 ② 特に、島根半島（海岸）地域並びに、山間地域の対応についてお伺いします。 ③ また、雪害の際の「救急患者」や「一人暮らしの高齢者」の搬送・避難などの対応についてお伺いします。	市 長	
3. 少子化対策について	① 市の婚活支援についてお伺いします。 ア 市の政策として実施すべき婚活支援の考え方（範囲）についてお示し下さい。 イ 市が支援している団体についてお示し下さい。 ウ その取組状況と実績についてお示し下さい。 エ 国や県の交付金等があればお示し下さい。 ② 子育て支援会議で協議されている状況についてお伺いします。 ア 子育て支援会議（部会含む）での協議内容・課題・対応策・今後のスケジュールについてお示し下さい。 イ 国の福祉政策との関連や対応についてお示し下さい。	市 長	

質問者	18	遠藤力一	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 手話言語条例の制定について	① 鳥取県で成立した、手話言語条例についての所感を伺う ② 出雲市における手話普及の現状 ③ 出雲市での手話言語条例の制定について	健康福祉 部長				
2. 中電島根原発の安全協定と再稼働について	① 島根原子力発電所の再稼働をめぐる現状と今後のロードマップは ② 県との覚書では、県が事前了解などの重要な判断をするにあたって、出雲市等の考えをよく理解し誠意をもって対応するとあるが、どのような考えを伝えるのか伺う ③ 中国電力が出雲市と立地自治体なみの安全協定を結ぼうとしない理由は何か、法的根拠はあるのか伺う	市長				

質問者	14	板垣成二	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 災害に対するしっかりとした備えを	① 出雲市防災訓練について 出雲市防災訓練は、これまで旧市町を主会場として順次実施されてきた。災害対策本部も主会場に設置し、時系列ごとに、シナリオを作成し、そのシナリオどおりに行動するいわばドリル型の訓練が実施されてきた。しかし、実際の災害では災害対策本部は市役所本庁に設置されるはずであり、また、シナリオがないのが災害である。従って、今後の訓練はより実践的に実施するべきと考え、以下の2点について伺う。 ア これまでの訓練の実績と成果並びに課題 イ 今後の防災訓練に対する基本的考え方 ② 災害対策本部の環境整備について 災害対策本部は、本庁3階の会議室に設置されることになるが、危機管理監の机の前の色々な機器が設置されているスペースは狭隘で、実際に機能するのか不安に感じている。 今年度は緊急告知のための統合卓も整備する計画のはずだが、このスペースについて改善する計画がないかを伺う。	市長				

	<p>③ 緊急情報伝達システムについて</p> <p>ア 今後の整備方針・計画を伺う。</p> <p>イ 出雲市の緊急伝達システムには、いくつかの媒体がある。どの地域にどのようなシステムが整備されており、本庁に設置される本部や、地区災害対策本部がこれらのシステムをどのように活用できるのかを伺う。</p> <p>ウ 乙立、朝山、稗原、上津の旧出雲南部4地区に防災行政無線が新たに整備され、運用が開始されているが、実際に活用できるような指導がなされているのか伺う。</p> <p>エ 法的な意味での災害ではないが、地域によって火災発生時の緊急情報伝達システムの活用方法に差異がある。その理由と今後の方針について伺う。</p>		
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

質問者	5 寺本 淳一
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 災害対策基本法における指定緊急避難場所と指定避難所について	<p>① 今年5月、出雲市危機管理指針を策定されました。その中に避難所開設予定施設が出雲市全体で340ヶ所、地震災害時における避難場所は151ヶ所記載されています。</p> <p>その後、6月に災害対策基本法の一部を改正する法律が公布され、新しく指定緊急避難場所と指定避難所の指定が追記されました。</p> <p>ア この指定緊急避難場所と指定避難所とは、どのようなものか。どのような基準、条件を満たした施設なのか具体的に説明をお願いします。また、市の避難所開設予定施設がどの程度その基準を満たしているのか伺います。</p> <p>イ 指定緊急避難場所と指定避難所を指定するにあたっての今後のスケジュールを伺います。</p>	市長	
2. 今後の児童クラブ運営について	<p>① 先般児童クラブで発生した事案について、児童クラブ全体に対しての再発防止対策を伺います。</p> <p>ア これまでに行われた対策は？</p> <p>イ 今後はどのようにチェック体制を行っていくのか？</p>	教育部長	

質問者	30	長 廻 利 行
-----	----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 大社の交通渋滞対策について	<p>① 今年、出雲大社が60年ぶりの正遷宮を迎え、大社地域は未だに予想をはるかに超える観光客で賑わっている。そうした中、特に3連休において、これまでにない大渋滞を経験した。この反省から渋滞対策については短期的な対策、長期的な対策、根本的な対策が重要かつ喫緊な課題であると考えている。</p> <p>また、「交流人口1000万人プロジェクト」を実現するには、広域交通ネットワークづくり（バス・JR・電車・航空・マイカーなどを対象とした総合的対策）を講ずる必要がある。</p> <p>については、以下の点について伺う。</p> <p>ア 出雲インターからの車が出雲大社に行くのに、最高7～8時間かかったと聞いている。長浜工業団地周辺になぜシャトルバスが出せなかったか。</p> <p>イ 斐川インターから降りるような誘導はできなかったか。</p> <p>ウ 今年は3連休が多く、特に連休の渋滞が目立ったが、公共施設（学校、コミセンなど）での駐車場対策はなされたか。</p> <p>エ 民間企業や個人で駐車スペースのあるところへ駐車場の依頼をされたか、また検討をされたか。</p> <p>オ 渋滞対策の予算（特に駐車場の確保）は適当であったか。</p> <p>カ トイレが少なく、どこのトイレも行列になっているようだが、トイレ対策は十分であったか。案内表示がわかりにくいとの声もある。</p> <p>キ 今日の経済効果が広域にわたっている状況から、交通渋滞対策は広く島根県及び周辺自治体などに参画（経費負担も含む）を求めるべきであると考えているがいかがか。</p>	市長	

質問者	10	井 原 優
-----	----	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 消費税増税で暮らし・福祉は守れない	<p>① どの世論調査でも、多くの国民が消費税増税を予定通り実施することに反対していました。又、将来の消費税増税が必要と考えている方のなかにも、いまは引き上げるべきではないという意見も少なくありませんでした。</p> <p>しかし、政府は、国民の意思を無視して、2014年4月から消費税率を8%に引き上げ</p>	市長	

	<p>を決めました。いま、長期にわたって国民の所得が減少し、消費が落ち込み、そのために景気が悪化する深刻な「デフレ不況」が続いています。こんなときに消費税を増税すれば、消費をさらに冷え込ませ、日本経済を一段と危機に陥れてしまうのではないのでしょうか。消費税を中止して、暮らしと経済への打撃をストップさせるべきです。国に対して方針転換を求めるときと考えますが、所見を伺います。</p> <p>② 中小業者は消費税分を、価格に転嫁するのが難しく、赤字でも身銭を切って消費税を納めてきたのに、8%の消費税増税で今後、営業を廃業する業者もあり、営業や暮らしに多大な影響があるが次の二点について調査を求めます。</p> <p>ア 消費増税で公共料金の市民負担額、消費生活では、</p> <p>イ 市内の中小業者の消費税の納税額</p> <p>③ 党は、消費税に頼らなくても、社会保障を充実し、財政再建を打開することができる「提言」を示しています。年収1億円、ひと月に830万円を越すような富裕層、大企業ばかりが優遇されている今の税金のあり方をただすこと。原発推進の予算や米軍への思いやり予算、政党助成金などの無駄をやめ、こうした財源を使って、社会保障の財源を確保、能力に応じた負担という原則にたった、所得税の累進課税を強化する税制改革の実施、国民の所得を増やし、家計をあたため、日本経済を内需主導の健全な成長の軌道にのせることこそ、本当の財政再建の道だと考えていますが。所見を伺います。</p>		
<p>2. 支所機能の充実について問う</p>	<p>① 「平成の大合併」に踏み切った山陰両県の新市11市で、合併前の町村役場などに開設した総合支所などの縮小が進んでいる。(中略) 住民からは、防災体制などへの不安の声が上がっている。(2013年11月6日付新聞報道より) その中で、現在の支所、職員143人(平田2課、佐田、多伎、湖陵、大社各1課、斐川4課)とあり、今後の方針は今後検討となっておりますが、今後の検討とは、何か(具体的に)伺う。</p> <p>② 支所の窓口で、相談(対応)した件数何件か。(年度ごとに)</p> <p>③ 支所の窓口で、相談した中(対応)で、相談内容が解決出来ず、本庁での相談件数はあったのか。</p> <p>④ 市民のみなさんには、さまざまな問題(解決が困難な)もあります。総合的な窓口を支所に設置してはどうか。(専門相談機関へ)</p> <p>⑤ 総務省は、合併市町村に新支援として、“支所数に応じ交付税加算”2014年度から役所の支所数に応じて地方交付税を加算する方針を固めた。このことについての認識を問う。</p>	<p>市 長</p>	
<p>3. 旧斐川町立荘原幼稚園の解体と神庭岩船山古墳の整備を</p>	<p>① 旧斐川町立荘原小学校内の敷地内には、旧斐川町立荘原幼稚園と昭和43年県の文化財に指定された、神庭岩船山古墳(塚山)(旧町立荘原幼稚園と岩船山古墳は隣接している)がありますが、旧町立荘原幼稚園の早期解体と岩船山古墳の整備(復元)し旧荘原幼稚園跡地を利用して史跡公園としては、考えられないか伺う。</p>	<p>市 長</p>	

質問者	17	松村豪人
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 女性の社会進出を支援すべき	<p>① 安倍政権では、成長戦略の柱の一つに「女性の活用」を掲げ、女性管理職の割合を3割に引き上げる目標を設定している。現状では、国内企業における女性管理職は1割程度と国際的に見ても低い水準にあり、指導的立場における女性の活躍は先進国に遅れをとっている。</p> <p>ア 出雲市職員の女性管理職の割合は。</p> <p>イ 出雲市の民間企業の女性経営者・女性管理職の割合は。</p> <p>ウ 第1子出産を機に約6割の女性が漓職するという現状にある。育児休暇・介護休暇等の取得の状況は。</p> <p>エ 女性の起業や創業・職場復帰・社会復帰を支援する取り組みは。</p>	市長	
2. コミュニティセンター施設の安全性と今後の対応方針	<p>① 10月29日15時頃、平田地域の北浜コミュニティセンターにおいて、壁のコンクリート片の崩落が発生し、シカ頭数調査に訪れていた島根県中山間地域研究センターの公用車に破片が落下する被害が発生した。</p> <p>北浜コミュニティセンターについては昭和46年に建設し、築40年以上が経過しているが、修繕等の計画は立っていない。このことについて、</p> <p>ア 出雲市にある43のコミュニティセンターについて、それぞれの築年数、および修繕等の計画、また修繕の要望はどの程度あるか。</p> <p>イ ハード面について、特に築年数の経過した施設については、上記と同様の不安がないか調査をすべきではないか。</p>	市長	
3. 海岸部の森林再生と急傾斜地の安全確保について	<p>① 市内の森林については、特に海岸部で松くい虫やシカ被害による森林の荒廃が進み、状況は非常に深刻である。</p> <p>ア 湖北地区においてはシカの駆除が進み、シカの頭数は目に見えて減少しているが、一度踏み荒らされた土地は土が固くなり草木が生えない現状である。</p> <p>急傾斜地においては、崩落の危険性が高くなっており、何らかの対策が必要であるが市ではどのような計画を立てているか。</p>	市長	

質問者	8	原 正 雄
-----	---	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 斐伊川放水路の運用結果について	<p>① 放水路の運用は斐伊川が400t/secに達した段階で分流開始、500t/secで分流堰の倒伏操作の開始との事ですが、目安の水位は神立橋下流の河川敷ゴルフ場ですべてどの程度なのか。また、400t/sec、500t/secを決めた根拠は。</p> <p>② 操作に入る場合の周辺地域に対し、どんな方法で周知されているのか。既に行われているが、知らない方が多いと思われるので周知の方法や、確認等について今後の対策を伺います。</p> <p>③ 放水路は三面がコンクリートで固められており、流れが速く、万が一落下した場合を思った時、防護柵のないのが気になります。安全対策はどのような考えなのか。</p> <p>④ 放水路の沈砂池に大量の砂が運び込まれているが、想定内の量なのか。斐伊川の河床に影響はないか。</p> <p>⑤ 神戸川と放水路合流点は流速の違いがあり導流堤が施工されているが、その効果は。また、現在下流各所に砂洲が出来ている（特に下流部境橋～妙見橋が多い）が、流下能力に支障は無いのか。</p> <p>⑥ 河川管理者として既に検証の為の調査をされていると聞いていますが、検証結果の報告は行われるのか。又その周知範囲は方法はどのようにされるのか。</p> <p>⑦ 神戸堰の操作との関係について例えば倒伏操作はいつ頃か。又、起伏（元に帰すのは）は、神戸堰の高さの設定は農業用水の取水や防火用水の要件で決められていると思いますが、取水高は左岸、右岸どちらが高いのか。大変高い為、漁道が設けられていますが、放水後を含めた現在までの漁道の効果どうなのか。特に鮎のそ上は2つの施設に掛っています。</p> <p>⑧ 河口の維持について 放水路で一番効果のあったのが、河口の砂洲のフラッシュです。このため神戸川の下流水位降下につながり、新内藤川の水位にも効果があったのではと思っていますが。また、鮭が180本～200本近く採れたとの事。鮎も海へつながった事により育ってるのと明るい期待をしているところです。 河口の管理は河口の閉塞防止につながりますので是非共よろしくお願い致します。</p>	都市建設 部長	

質問者	11 伊藤 繁 満	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 安全・安心都市の防犯対策について伺います。	<p>① 出雲未来図（総合基本計画）の防犯に関する取組みが72.4点と上位10位につけ市民の関心度は高い。このことについてどのように認識しているか又、歳末特別警戒にあたり市としての対応について、伺います。</p> <p>② 市内の刑法犯の発生件数と旧市町別の状況を伺います。</p> <p>③ 安全で安心なまちづくり条例中防犯に関しては制定以来どのような取組みが行われてきたのか、伺います。</p> <p>④ 上記条例中ヤマタノオロチ退治の気概とあらゆる脅威とはどのようなことを指しているのか又、3条4項の被害を受けやすい子ども、高齢者、障害者、女性等に配慮して推進し、人命第一に考えることを基本。このことを防犯上の視点から考えたときにどのような安全対策と取組みが必要とされるのか、伺います。</p> <p>⑤ 出雲市駅に特定した防犯カメラ取扱要綱（平成17年制定、平成24年改定）では不十分ではないか、伺います。（無人駅駐輪場、公園、公共施設等）</p> <p>⑥ 犯罪の無い、安全・安心都市の創造では何が重要な事柄なのか行政サイドに求められているものの基本的なことは何か、伺います。</p>	市長			